

自由民主党 絆の会通信

令和4年春号 VOL.30

誇れる吹田を次世代へ

子育て・防犯防災・地域活性化 吹田市議会議員 沢田なおきの議会活動



さわやかな季節になりました。元気に過ごしましょう!



今号の TOPIX

- 1 令和4年度当初予算の主な取り組みについて
- 2 JR吹田北口、岸辺北口に完全密閉式の喫煙所設置へ
- 3 高城児童会館移転建替え工事設計業務
- 4 危機管理センターの設置場所は妥当なのか
- 5 「吹田だんじり祭り」実現に向けた取り組み
- 6 小学校の入学式と卒業式の保護者参加人数について

令和4年度当初予算可決!

計2548億円

内訳

一般会計 約1551億

特別会計 約769億

水道会計 約98億

下水道会計 約130億



令和4年度 当初予算の主な取り組み 2月定例会 令和4年2/17～3/23まで開催	複合施設「まちなかりびんぐ北千里」の整備 児童センター、公民館、図書館 約11.4億円	卒煙支援ブースの設置 完全密閉型喫煙所をJR吹田と岸辺の2か所に設置 沢田が提案! 約6200万円	危機管理センターの設置 常設の災害対策本部設置 約7700万円	江坂公園・桃山公園における官民連携による整備 今後、中之島公園も実施検討 約3.9億円
自治体DXの推進 システム標準化、電子手続き、キャッシュレス等 約4.5億円	小学校給食費無償、中学校給食費半額支援 令和4年4月～令和5年3月まで 会派で提案! 約10.5億円	高城児童会館移転建替え工事設計業務 日の出住宅跡地へ移転後、建替え 地域で推進! 約2533万円	吹三地区公民館整備事業 移転費等。 令和6年秋完成予定 地域で推進! 約2594万円	南消防署南正雀出張所建設工事費 南正雀、川園町、岸部南の救命力向上へ 約5200万円

「吹田だんじり祭り」実現に向けた市のサポート体制の再構築について

これまでの経緯 地域に長年愛された吹田まつりは令和2年度から『すいたフェスタ』と名前を変え、万博記念公園での開催が決定。(コロナの影響により一度も開催されず)これまで、本祭りが開催されていたJR吹田駅周辺では『にぎわいの維持』と『歴史ある地車の曳行』の継続のため、商店街関係者と、地車を抱える自治会有志がそれぞれ実行委員会を結成。市議会でも超党派議員5名で、「地車の伝統文化を守り地域振興を図る議員連盟」(通称 だんじり議連)を発足し、沢田が会長に就任。コロナの影響により、2年連続中止となったが、**令和4年7月31日の開催に向けて、準備中。**

- 現在の課題**
- ①商店街向けと地車向けの補助金が2つあることで、最低2つ以上の実行委員会を立ち上げなければならない
 - ②かつての吹田まつりの規模に近づけるには補助金を満額申請する必要があり、そのためには実行委員会が3つ必要
 - ③それぞれの補助金の目的や金額、補助率が違うため使いにくい
 - ④実行委員会が複数存在することで、協賛金の窓口も3つとなり協賛する側からは分りにくい
 - ⑤1つの実行委員会であれば1つで済むものが、3つあることで、各委員会に同じような経費が計上される場合もある

沢田の質問 50年続いたかつての吹田まつりは、地域住民にとって一過性のイベントではなく、夏の風物詩であり、地域の絆を紡ぐ貴重な場所であり、3世代が交流する場でもあった。市がにぎわいの継続や地域の活性化を課題と捉えているのであれば、**より効果的な支援を再構築すべきではないか。**



副市長答弁 旧吹田まつりの会場でのにぎわいの継続については、関係部署が一体となって地域における団体間の連携を後押しする。また、**市の魅力向上につながるイベントの開催を支援できるよう、関係部署に連携した補助制度の運用を指示する。**

吹田市立小学校の入学式と卒業式の保護者参加人数について

これまでの経緯 吹田市内小学校の10名のPTA会長から連名で、R3卒業式とR4入学式に対する要望書を沢田が受領。

要望書を受けた自民党代表質問(2/25)と沢田の個人質問(3/1)要旨

- 質問①** 学校によって児童生徒数にかなり差がある。小規模校では柔軟な対応をすべき
- 質問②** 入学式まではまだ約40日ある(2月25日時点)。蔓延防止の延長等を見極めてから判断すべき
- 質問③** 企業の入社式のように複数回に分けて式典を開催することも検討すべき
- 質問④** ①から③が無理でも、入れない家族にはオンライン配信すべきだ

市教委と市長の答弁要旨 4つの質問や要望に対し、市教委はほぼゼロ回答。ただし、**市長が入学式については、3月末頃までコロナの状況を見極めてから判断すると答弁。**

市長答弁後の市教委の最終判断 入学式については、児童数が少なく、人と人の距離を概ね1メートル確保できる**吹一、吹六、東、岸一、山三、山五、高野台、青山台の8つの小学校が保護者参加2名**となる。

他の学校に子どもたちを通わせている保護者の皆様、力になれず申し訳ありませんでした。

沢田なおき 吹田市議会議員(2期) 自由民主党

吹田市は今、大きな転換期を向かえています。市・府・国が連携をし、吹田の課題解決に取り組んで参ります。

S52/5/29 会社員の長男として生まれる / 末広町在住 / 2児の父
 玉川学園幼稚園→吹田市立東山田小学校(一時、東京へ)→吹田市立千里中学校→大阪学院高校→ロンドン留学2年半→関西学院大学法学部政治学科卒→関西学院大学経営戦略研究科 経営管理修士(MBA・自治体経営専攻)、民間企業勤務を経て、議員秘書、予備自衛官
 自由民主党絆の会 代表、地車の伝統文化を守り地域振興を図る議員連盟(通称 だんじり議連) 会長
 学生時代から20か国以上を訪問し、世界情勢を学ぶ。

【趣味】サッカー、ジョギング(フルマラソン3時間54分)、読書(歴史・政治経済) 【家族構成】妻、長男6歳、長女5歳

市政相談受付中! メール、電話、SNS又は連絡事務所、会派控室まで、お気軽にご相談ください。

連絡用メール naokisawada2002@gmail.com

連絡事務所 〒564-0022 吹田市末広町2-9 連絡先 080-6118-0391(直通) FAX 06-7708-7966

会派控室 〒564-0041 吹田市泉町1-3-40 吹田市役所中層棟3階(通常、ここにあります)



UD FONT by MORISAWA
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
使用しています

JR吹田北口、岸辺北口に完全密閉式の喫煙所設置へ！実現！

沢田のこれまでの取り組み



- ①H30年決算、同年予算分科会、R1年9月定例会、R3年決算分科会で受動喫煙対策と環境美化の両立を図るよう様々な角度から質問。
- ②岸辺周辺の自治会の皆様や有志で、JR岸辺、吹田、阪急正雀駅周辺を月1回程度清掃。
- ③3年間撮りだめたポイ捨て等に関わる写真やデータを決算総括質疑の場で、市長にぶつけ改善を促す。

R3年決算総括質疑 沢田なおきの質問

私はこれまで約3年間、JR岸辺駅を中心としたポイ捨て状況を調査してきた。ゴミ拾いも定期的に行ってきたが、状況は悪化し、日によっては、約300本の吸い殻を確認した。岸辺駅周辺の緑の遊歩道は、実質の喫煙所として、ゴミ捨て場として、野外酒場として定着したと考えられ、目も当てられない惨状。市の言う、啓発強化や中長期的な対策も大切だが、**目の前の惨状解消のために、対処療法ではない具体的な改善策を示すべき。**

R3年決算総括質疑における 沢田の提案

国立循環器病研究センター等と連携し、**日本初の「禁煙を促す密閉式喫煙所」を設置し、実証実験を行うべきだ。**



R3年決算分科会における 市長答弁

ご指摘いただいたJR岸辺北口駅前においてその財源も含めて、具体化を図るべく検討を始める。

R4年2月定例会において

JR吹田北口、岸辺北口の2か所に完全密閉式の喫煙所を設置する予算



R4年2月定例会や委員会における 沢田の意見

予算提案は評価するが、設置費用(約6200万円)が高すぎる。費用低減に努めるとともに、ネーミングライツやガバメントクラウドファンディング、企業広告等を実施することにより、**歳入確保も図るべき。**

高城児童会館移転建替え工事設計業務(日の出住宅跡地へ移転後、建替え)

これまでの経緯



令和3年4月に吹三地区連合自治会会長、沢田を含む地元議員3名で要望書を提出。

→「市の個別施設計画では、吹三地区にある高城児童会館が建替え又は大規模修繕をする予定となっているため、「高城児童会館を日の出住宅跡地へ移転して、広場付きの児童センターとしての建替えを地元の総意として要望。」



施設の老朽化が進んでいる高城児童センターについては、地元の要望を踏まえ、日の出住宅跡地への移転建て替えを検討していく。ただし、移転した場合は、高城児童会館跡地については売却したい。

令和3年11月定例会 沢田の質問に対する副市長答弁



R4年2月定例会において

「高城児童会館移転建替え工事設計業務予算」



危機管理センターの設置場所は妥当か、安全性は担保されているか



沢田のスタンス

- 危機管理センターの設置そのものには賛成。
- 現状、初動体制構築に約3時間かかる課題解消の必要性は理解。
- 現時点で、**最も堅牢で安全性の高い場所に設置すべき。**

市の提案の問題点

- ①設置場所を本庁舎高層棟3階ありきで提案。
(築50年が経過し、耐震指標の数値が少しでも劣化していれば、「大災害時に機能確保を担保できないレベル」となる)
- ②本庁舎で最も安全なのは新耐震基準の中層棟であるが、検討すらされていない。
- ③低層棟も東西の揺れについては高層棟より強いが検討すらされていない。
- ④2年後に完成する北部庁舎は免震構造で最も安全と考えられるが、本庁舎から離れているという理由で却下されている。
- ⑤安全性や場所の妥当性を問う質問に対する答弁の修正や撤回が多発。理事者の準備不足が露呈。
- ⑥耐震性に対する基本的な認識を疑われる答弁や、これまでの議論を根底から覆すような答弁の撤回や修正があったことで、**提案された議案そのものの信頼が損なわれた。**

沢田の議会質問要旨

問題点①～⑥の経緯から、危機管理センターの予算についてはを全額撤回し、出し直すべき。



これらの動きを受け、議会で予算の撤回を求める組み替え動議を提出



市長は予算を撤回せず。約2億円の予算を約7700万円に減額し再提案
※災害対策本部のOAフロア化、無線機等の移設費、備品の予算のみ提案

自民党派と市の考え

再提案された減額された予算に対しては、党派で賛否が割れたため意見を付した上で賛成へと転じる。

自民党派を代表して 沢田が本会議最終日に意見

(本会議最終日討論採決で自民党派を代表した意見から一部を抜粋)

「危機管理センターについては一部の予算のみ可決したが、**予算執行ありきでなく、議会や分科会等で意見提案された、その他の場所も含めて内容をもう一度精査し、一定の結論を得た上で予算執行すべき。**」